

広 報 ま っ だ い

昭和43年10月25日発行
 第126号
 東頸城郡松代町公民館
 館長 富沢清次
 電話 松代6番
 印刷 松代印刷所

第三回定例町議会開かる

補正予算などを議決

となつて得。

◎支出

土木費 一六三万円
 主に国道工事負担金

農林費 五三万円
 主に農業構造改善事業費

消防費 五三万円
 主に消防施設整備

総務費 六八万円
 主に松代病院運営寄附金

議第五号 昭和四十三年松代町国民健康保険特別会計補正予算

(収入支出共三二七六〇〇〇円を追加、収入の主なるものは繰越金の三〇七万円、支出の主なるものは医療品衛生材料費となっている)

議第六号 松代町昭和四十二年歳入歳出決算認定について
 (省略は裏面に)

議第七号 片桐山辺地に係る総合整備計画について(このことは昭和四十一年度より四十五年にわたり辺地総合整備計画として片桐山辺内に自動車道を切開らく計画の年次計画審議で、すでに孟地より片桐山部落への道路は整備されつつある)

尚議長名により今議会を通じて総理大臣等に対する食糧管理制度存続堅持に関する意見書を決議しました。その意見書の内容は

- 1.食糧管理制度の堅持
- 2.時期別格差の復活
- 3.予約概算金制度の存続等でありませす。

去る九月三十日、十月一日の二日間にわたり、九月定例松代町議会が開かれ、提上された補正予算などを議決いたしました。尚当日は町婦人会約四十名が傍聴席をうめ、熱心に議会を見学、一日中、学習を続けました。

当日議決されました議題は次の通りです。

報告第一号 昭和四十三年度松代町一般会計補正予算(これは町単独土木施設災害復旧費)

議第一号 教育委員会委員の任命について(任期満了にともなう委員の承認について)。

富沢 清次(松代町小荒戸)
 西潟 正雄(松代町福島)
 尙一日午後町教育委員会が開か



れ、教育長に富沢清次氏を再任

議第二号 選挙管理委員及同補充員の選挙について(委員及補充員は選挙によって選任するものとし、選挙管理委員四名、同補充員四名とする)

議第三号 新潟県町村人理事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約変更について、(このことについて松代町には関係がないので省略する)

議第四号 昭和四十三年度松代町一般会計補正予算(収入支出共に四一七〇〇〇円を追加し)その主なる内訳は

◎収入 三三一万円
 交付税 五〇万円
 町債



〔写真〕 上は町議会風景

下は傍聴する婦人会員



昭和四十二年年度決算概要

昭和四十二年年度の一般会計は、当初二〇九、二五七千円でその後補正が行なわれ、最終予算は二七三、四六二千円と大規模なものになりました。これに対し決算額は歳入 二七六、一七六千円 支出 二五六、一七五千円 でその差は二〇、〇〇一千元となり、尚これに特別会計の建設機械施設事業会計を加えると決算額は二六六、四九二千円となります。その款別歳出額は別図の通りですが、性質別歳出内訳も揭示しておきました。

- ① 議会費 五八一万円
- ② 総務費 六一三、七千円
1. 総務管理費 四七、四万五千元
 2. 徴税費 七五、七万七千元
 3. 戸籍住民登録費 二六、一萬一千元
 4. 選挙費 二一、六万六千元
 5. 統計調査費 一五、〇万六千元
- ③ 民生費 一一〇、二万六千元
1. 社会福祉費 五三、九万九千元
 2. 児童福祉費 五四、〇万六千元

3. 災害救助費 二二万六千元
- ④ 衛生費 五二、七万六千元
1. 保健衛生費 五一、二万六千元
- ⑤ 労働費 四七、二万六千元
1. 失業対策費 二九、〇万六千元
2. 労働諸費 一八、一萬六千元
- ⑥ 農林業費 四〇、九万五千元
1. 農業費 三三、三万五千元
2. 林業費 六、六万六千元
- ⑦ 土木費 四二、九万六千元
1. 土木管理費 九、八万五千元
2. 道路橋梁費 三三、一萬二千元
- ⑧ 消防費 八、九万二千元

款別歳出額

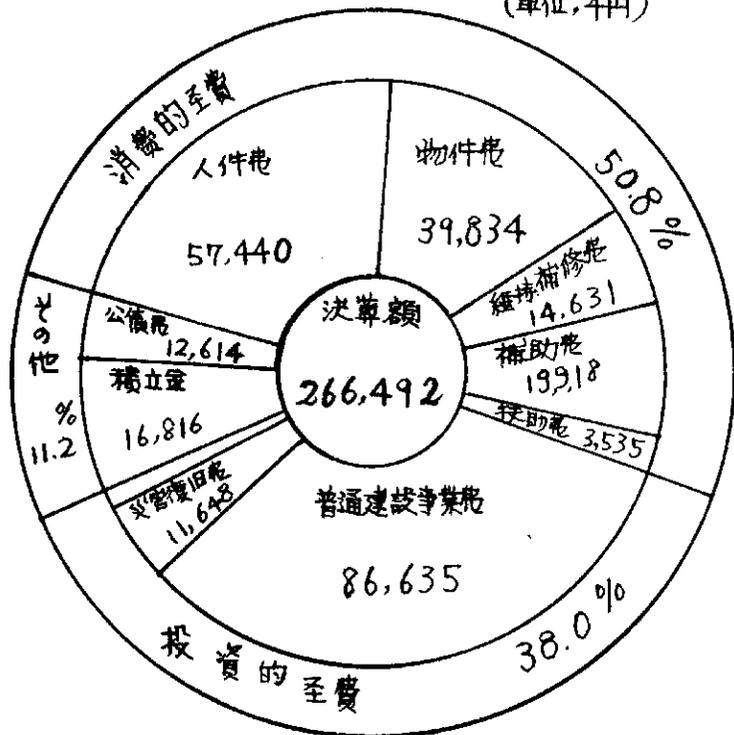
款別	額 (千円)
公債費	1352
災害復旧費	1267
教育費	4868
消防費	892
土木費	4296
商工費	32
農林業費	4095
労働費	472
衛生費	585
民生費	1102
総務費	6138
議会費	581

(単位: 千円)

- ⑨ 教育費 四八、八万六千元
1. 教育総務費 八、六万一千元
 2. 小学校費 二、三万九千元
 3. 中学校費 一、一七、九千元
 4. 社会教育費 二、九万八千元
 5. 松代高等学校寄宿舎増築費 二、三万六千元

性質別歳出内訳

(単位: 千円)



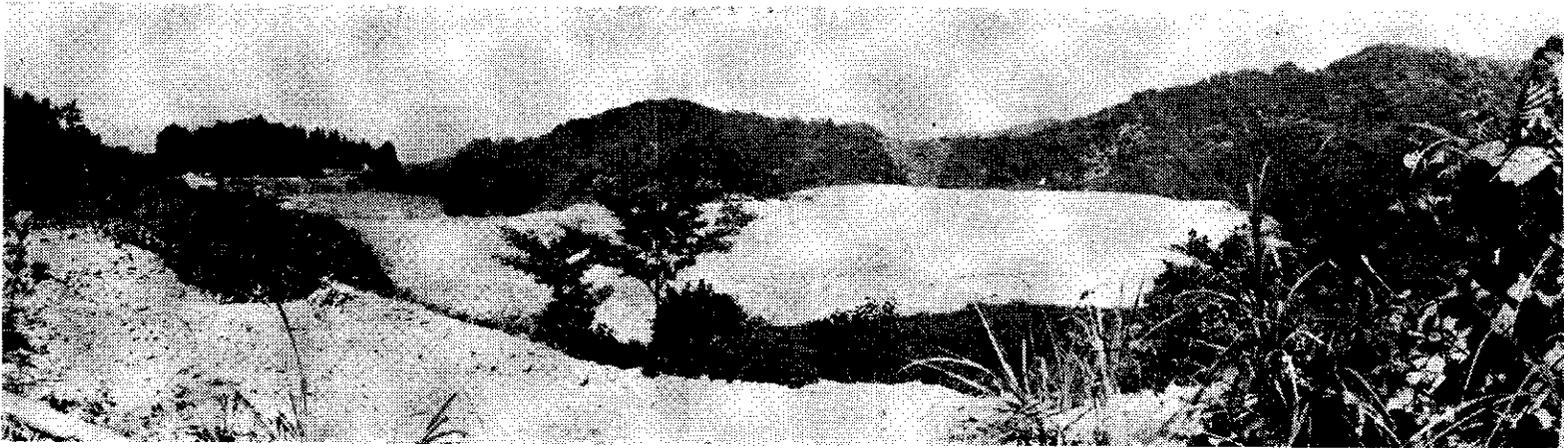
たばこは 町内で買しましょう

代金の一部が町の収入となり皆さんのお役にたちます。一箱でもよそで買われますとよその市や町の収入になってしまいます。

- ⑩ 災害復旧費 一一、二六、七万六千元
1. 土木施設災害復旧費 八、六〇万六千元
 2. 公共土木施設災害復旧費 三、一八万八千元
- ⑪ 公債費 一、三五、二万六千元
- 以上の通りです。

山間地農業に夢を……

動きだした農業構造改善事業



(写真……雑木林からみごとに関衆された東山共同桑園)

地域農業の振興を目的とした松代町農業構造改善事業が本年度から五ヶ年間にわたり実施されます。この事業は農家所得の向上、自立経営農家の育成を目標として実施されるものです。

構造改善事業の特色としては、地域(町)ごとに『基幹作目』を定め、これから消費が伸びることが約束されている作目を検討しこの地域で何を作ったら一番有利かという事を考え、しかも地域に合った作目を集団的に大量にかつ安い生産費で作る事により農業収益を向上させようとするものです。

そのためには現状の悪い土地基盤を整備したり、未利用雑木林を開墾したりしそこに近代的な農業機械や施設を国の高い補助金や低利な融資により動かし機械の力をかりて手間をばぶき少い人手で多くの農業生産をしてゆこうとするものです。

しかし国の補助金や融資、町予算にも限度があるので一度に町全部の部落に実施することは不可能です。そこで一定のモデル地区を定めそこに重点的に投資をして改善してゆこうとするのがこの事業の特色となっています。

町農業構造改善事業の概要

◆町の基幹作目を『米』と『養蚕』に決定!!

悪い土地条件や山間僻地、豪雪地帯などの条件により昔から現在にわたって、それぞれの農家によっていろいろな作目がとり入れられており町の基幹作目を定めるのは相当な無理と困難があります。

このため昨年来より町農業構造改善協議会や事務局において種々に研究討議され地域の立地条件、収益性、他市町村との比較有利性、開発可能性などを源として『米』と



(写真……造成中の稚蚕専用桑園……孟地地内)

「養蚕」に決定しました。又「和牛」「たばこ」も補充作目として奨励する事になりました。

◆『米』の振興計画………省力化が重点!!

松代町農業総生産額のうち『米』が八〇%を示めております。しかし生産基盤となると平場の圃場とは比較する事が出来ません。そこでまず農道開設に重点をおき小型自動車や耕耘機の利用を可能にして過重労働である人肩運搬労働を少しでもなくし次に近代的な作業所や機械を共同で利用する事により現況農家の過剰農機具所有を改善してゆくことが必要です。これらにより水稲作の省力化をはかり現在の水稲面積をより少い人手でも耕作してゆけるような条件を作りだしてゆこうとするのが「米」の振興計画の基本になっています。

◆町全域を対象とした稚蚕共同飼育所の建設!!

基幹作目として定めた『養蚕』の振興については従来の飼育型態では若い人にきられ発展性がありません。いままでの住宅内飼育を

(以下四面へ続く)

(三面より)

極力、屋外条桑育にきり交え、より多く飼育する事により、収入を多くしなければなりません。このため町内の全養蚕農家と今後養蚕飼育を希望する農家全部を対象として松代町稚蚕共同飼育所が建設(昭和四十五年度)されます。この飼育所で三令まで完全飼育されてから農家に配布されますから屋外飼育が可能になり、又飼育期間も短縮される事になります。

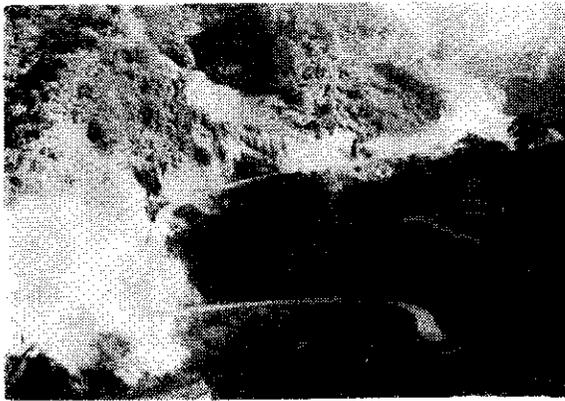
◆地域全体で二億三千七百万円の事業費!!

これらによる町農業の振興計画は五ヶ年間に二億三千七百万円の事業費になります。この内訳は、構造改善事業実施分事業費九千五百万円。一般公共事業(団体営土地改良事業)事業費一千二百万円



片桐山にこんな道が

◎ 県単山村振興事業特別開発工事で、すでに二ヶ年にわたり、施



その他事業(県単補助、町単、山村振興事業等)一億三千万円となっています。

◆事業進む本年度工事!!

構造改善実施地区に東山部落と旧蒲生地域が指定され昭和四十三年度第一年度の事業実施に入りました。本年度実施中の両地区事業内容は次の通りです。

△東山地区

造成面積	五、三 ha
桑植栽面積	四、五 ha
附帯道路	三、〇 m
事業費	六、四七、〇〇〇円
請負者	太田開発KK
植栽面積	四、五 ha
植栽本数	三、六五〇本
事業費	一、六、〇〇〇円
桑植栽事業(融資)	
共同桑園	

△蒲生地区

農道開設事業 三本 二、三七〇m

南沢線

延長一、二〇〇m 巾員四、〇〇m
事業費 八、五三、〇〇〇円
請負者 米持組

北平線

延長一、〇〇〇m 巾員四、〇〇m
事業費 七、三三、〇〇〇円
請負者 室岡組

向山線

延長 二五〇m
事業費 一、五〇、〇〇〇円
請負者 高沢組

△広域地区(稚蚕共同飼育所)

稚蚕専用桑園造成	
孟地地内	三、五 ha
蓬平地内	〇、五 ha
事業費	四、三九、〇〇〇円
請負者	太田開発KK 室岡組
植栽本数	三、五五〇本
事業費	一、〇三、〇〇〇円
桑植栽事業	

秋の全国交通安全運動

◎ 秋の交通安全運動旬間が十月十一日より全国一勢に行なわれました。松代町においても、町内各所で、関係者が街道に立ち、道行く車や通行者に交通安全の必要性を指導する姿が見られました。

尚当町は交通安全宣言町として事故の皆無を願っているものですので、何時でも、どこでも、全町民が交通事故の皆無に配慮せられる様お願い申し上げます。

できました蒲生の保育所が

工されている片桐山の道路は、ご覧の通りに進んでいます。川面までの今までの道が高くなり、バイクもやっとだったのを、今年度だけでも工事費一六六〇万円、六一四米の巾員四米の立派な道路に変わっています。この道にかける地元の人々の夢の大きさを共に喜び合いたいものです。



◎ 既報の蒲生保育所が出来あがり十月四日落成式を終りました。七日には園児達の入所式、お母さんに手を引かれて、真赤な頬に喜びをいっぱい表わした子ども達、が元気に道を急いでいました。又地域の人たちも笑顔でこれを見送るなど和やかな風景でした。

